

主催 全国商業高等学校長協会・公益財団法人全国商業高等学校協会

後援 文部科学省・日本公認会計士協会・日本税理士会連合会

第29回 (平成25年度) 全国高等学校簿記コンクール問題 (第1部)

注 意 事 項

- (1) 答案は、すべて答案用紙に記入すること。なお、教科書に基づき日頃学校で指導を受けている記帳の方法によって、正確・迅速・整然と記帳すること。
- (2) 机上には、競技番号札・ボールペン（黒・赤）・電卓・そろばん・定規・タイマー以外おかないこと。
なお、物品の貸借はしないこと。
- (3) 赤記すべきところは、赤のボールペンを使用すること。
- (4) 答案作成にあたっては、鉛筆および消しゴムで消せるボールペンの使用は認めない。
- (5) 記帳したものを訂正する場合は、教科書に基づき日頃学校で指導を受けている方法によって訂正すること。
なお、訂正印は省略する。

1 (40点)

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現金	当座預金	受取手形	不渡手形	売掛金
貸倒引当金	有価証券	未着商品	積送品	繰越商品
未収有価証券利息	仮払金	仮払法人税等	機械装置	機械装置減価償却累計額
備品	のれん	子会社株式	支払手形	買掛金
手形借入金	当座借越	仮受金	未払法人税等	未払配当金
保証債務	社債	資本金	資本準備金	その他資本剰余金
利益準備金	繰越利益剰余金	売上	受取手数料	有価証券売却益
有価証券利息	保証債務取崩益	社債償還益	仕入	発送費
貸倒償却	減価償却費	支払家賃	旅費	支払利息
手形売却損	保証債務費用	有価証券売却損	社債償還損	雑損
除却損	子会社株式評価損	石川支店	福井支店	愛知商店
滋賀商店	静岡商店	東西商店	長野商店	三重商店
現金過不足				

- (1) 宮城商店は、決算にあたり、さきに売買目的で取得した額面 $\yen 1,500,000$ の社債に対する45日分の利息の未収額を計上した。ただし、利率は年2.19%である。
- (2) 秋田商事株式会社(決算年1回)は、法人税・住民税および事業税の中間申告をおこない、前年度の納付額の2分の1を現金で納付した。ただし、前年度の決算時に税引前当期純利益の40%を法人税・住民税および事業税として計上しており、当期純利益は $\yen 1,800,000$ であった。
- (3) 石川支店を開設するにあたり、本店は現金 $\yen 350,000$ と備品 $\yen 130,000$ を石川支店に送付した。また、福井支店は商品 $\yen 90,000$ と備品 $\yen 180,000$ を石川支店に送付し、本店はこの通知を受けた。なお、本店集中計算制度を採用している。(本店の仕訳)
- (4) 青森商店は、現金の実際有高が帳簿残高より $\yen 29,200$ 不足していたので、現金過不足勘定で処理していたが、決算日において、家賃の支払額 $\yen 30,800$ と手数料の受取額 $\yen 2,300$ の記入もれであることがわかった。残額は原因不明のため雑損として処理した。
- (5) 佐賀商店は、さきに長崎商店あてに約束手形を振り出して借り入れていた金額のうち半額を、本日、小切手を振り出して返済した。残額については支払期日の延期を申し込み、承諾を得たので延期にともなう73日分の利息 $\yen 12,000$ を含めた新しい約束手形を振り出して、旧手形と交換した。なお、利率は年6%である。
- (6) 徳島商店は、高知商店にA品14個(売価@ $\yen 32,250$)と、B品6個(売価@ $\yen 25,000$)を掛け売りしていたが、本日、B品1個については、汚損があったとの申し出があったため売価の10%の値引きを承諾した。
- (7) 新潟産業株式会社(決算年1回 3月31日)は、平成25年2月25日に、これまで使用してきた機械装置を除却した。ただし、この機械装置は、平成22年4月5日に購入し、定率法(償却率25%)によって減価償却費を計算し、間接法で記帳している。なお、この機械装置の評価額は(0)であり、当期の減価償却費は月割りで計上する。除却の処理の結果、除却損は $\yen 582,750$ となる。
- (8) 愛媛商店は、兵庫商店に24か月の均等分割払いの契約で商品を $\yen 2,462,400$ で販売し、第9回目の割賦金を回収したのち、決算をむかえた。よって、回収基準により未回収分に相当する原価を期末商品棚卸高に計上した。なお、割賦販売の売価は一般販売の売価の8%増しで設定しており、一般販売の売価は原価率64%で設定している。ただし、この商品は在庫処分品として割賦販売の売価の20%値引きをして販売している。
- (9) 大阪商事株式会社は、あらたに株式40株を発行し、全額の引き受け・払い込みを受け、払込金は当座預金とした。ただし、1株につき $\yen 35,000$ は資本金に計上しないことにした。なお、この株式を発行する直前の負債総額は $\yen 15,000,000$ で、株式の発行により自己資本比率が53.125%から60%になった。
- (10) 宮崎商店は、A品150個とB品70個の船荷証券を、岩手商店に $\yen 237,500$ で売り渡し、代金は商品到着後10日以内に、同店振り出しの小切手で受け取ることにした。ただし、未着商品販売の売価は一般販売の売価の5%引きであり、一般販売の原価率はA品が75%、B品が70%である。1個あたりの原価はA品の方がB品より $\yen 200$ 高い。なお、商品の原価を仕入勘定に振り替えること。

(11) 平成25年4月1日に熊本商事株式会社は、次の財政状態にある南北商店を¥1,300,000で取得し、取得代金は小切手を振り出して支払った。ただし、南北商店の貸借対照表に示されている資産および負債の時価は帳簿価額に等しいものとする。なお、この取得により、資産総額が¥1,960,000増加した。

売掛金 ¥2,100,000 備品 ¥ 買掛金 ¥
資本金 ¥1,200,000

(12) 出張中の従業員が帰店し、出張前に渡した旅費概算額¥43,000の残額¥2,800を現金で受け取った。また、この従業員が出張中に当店の銀行口座に振り込んだ内容不明の金額¥595,000について、仮受金勘定で処理していたが、次のとおり報告を受けた。なお、これにより売掛金勘定の残高は、受取手形勘定の残高に比べて¥280,000少なく、買掛金勘定の残高に比べて¥50,000多く、受取手形勘定の残高は買掛金勘定の残高の1.2倍の金額となった。ただし、売掛金回収前の売掛金勘定の残高は¥2,280,000である。

(ア) 得意先和歌山商店に対する売掛金を回収した。

(イ) 当期に販売し、当期に貸し倒れとして処理した売掛金を回収した。

(13) 京都商事株式会社（決算年1回 3月31日）は、次のA株式とB株式の売買について、払出単価の計算を移動平均法でおこなうところ、誤って先入先出法でおこなっていたことがわかったので訂正した。

4月 3日	A株式購入	30株	@ ¥38,500	6月20日	A株式購入	40株	@ ¥37,400
4月25日	B株式購入	80"	" " 16,700	7月17日	A株式売却	70"	" " 38,900
5月21日	A株式購入	50"	" " 36,500	7月18日	B株式購入	120"	" " 15,800
5月28日	B株式売却	50"	" " 20,500				

(14) 沖縄商事株式会社は、実質的に支配している南西商事株式会社の財政状態が悪化したので、保有する同社の株式300株（1株の帳簿価額¥90,000）を実質価額によって評価替えした。なお、南西商事株式会社の発行済株式数は400株（時価の把握がきわめて困難な株式）であり、負債比率は150% 総資本は¥30,000,000であった。

(15) 奈良商事株式会社は、株主総会において、その他資本剰余金¥4,000,000と繰越利益剰余金¥1,800,000を原資として配当することを決議した。なお、配当にあたって、資本準備金と利益準備金は会社法の規定にしたがい計上すること。ただし、同時点における奈良商事株式会社の資本金は¥30,000,000 資本準備金は¥5,000,000 その他資本剰余金は¥4,500,000 利益準備金は¥600,000 繰越利益剰余金は¥2,000,000である。

(16) 福岡商店にA品（原価@¥2,145 売価@¥2,860）とB品（原価@¥2,074 売価@¥3,050）の販売を委託していたが、本日、福岡商店から売上計算書とともに手取金¥1,336,650の小切手を受け取り、同時に売れ残ったB品20個が返品された。ただし、委託販売は当期から開始し、今回、福岡商店に積送した数量のうち6割はA品であり、残りの4割はB品である。また、売上高からその5%にあたる手数料・販売諸掛を差し引いた額を手取金としている。なお、販売のつど原価を仕入勘定に振り替えている。

(17) 鹿児島商事株式会社（決算年1回 3月31日）は、割引発行した次の社債のうち4分の1を平成○3年4月1日に@¥99で小切手を振り出して買入償還した。なお、償還時の社債の帳簿価額は@¥98.80であった。ただし、社債の評価は償却原価法（定額法）によっている。

発行日 平成○1年4月1日 額面総額 ¥
払込金額 ¥17,958,000 償還期限 8年
利 率 年3% 利 払 い 年2回（9月末・3月末）

(18) 岐阜商店の一連の取引は、次のとおりである。なお、当座預金については¥1,000,000を限度額とする当座借越契約を結んでいる。ただし、掛け取引については人名勘定を用いている。

① 静岡商店に対する買掛金¥500,000の支払いにあたり、さきに滋賀商店から裏書きのうえ譲り受けていた愛知商店振り出し、東西商店引き受けの為替手形#2¥300,000を裏書譲渡し、残額は得意先三重商店あての為替手形#4を振り出し、同店の引き受けを得て静岡商店に渡した。なお、保証債務の時価は手形額面金額の2%と評価した。

② かねて長野商店から注文のあった商品¥1,000,000を発送するとともに、貨物引換証を担保として、取引銀行で商品代金の8割の荷為替を取り組み、割引料を差し引かれた手取金¥796,000は当座預金とし、残額は掛けとした。なお、発送費用¥16,000は現金で支払ったが、そのうち半額は長野商店が負担することになっている。ただし、当座借越勘定の残高が¥600,000ある。

③ 静岡商店に裏書譲渡した愛知商店振り出し、東西商店引き受けの為替手形#2が不渡りとなり、同店から償還請求を受けた。よって、手形金額を小切手を振り出して支払った。同時に滋賀商店に償還請求をおこない、通信費などの諸費用¥800は現金で支払った。ただし、当座預金勘定の残高が¥196,000ある。

2 (18点)

神奈川商店の5月30日の取引について記入された下記の略式の伝票・受取手形記入帳・支払手形記入帳・売掛金明細表・買掛金明細表によって仕訳集計表を作成しなさい。

ただし、i 1枚の伝票には、貸借それぞれ1科目だけ記入することになっている。

ii 各伝票・受取手形記入帳・売掛金明細表の()は各自推定すること。

入金伝票		出金伝票	
売掛金(千葉商店)	3,400	仕入	12,500
受取家賃	89,000	買掛金(群馬商店)	93,400
売上	43,000	発送費	3,900
売上	25,200	前払金	62,000
売掛金(東京商店)	165,200	備品	5,000
売掛金(埼玉商店) ()	()	() ()	()
受取手数料	10,300	消耗品費	2,800
売上	29,600	買掛金(栃木商店)	62,500
前受金	54,800	仕入	105,000
受取利息	2,160	租税公課	86,000

振替伝票 (借方)		振替伝票 (貸方)	
売掛金(山梨商店)	875,000	売上	875,000
当座預金	230,000	売掛金(千葉商店)	230,000
仕入 ()	()	買掛金(群馬商店) ()	()
受取手形 ()	()	売上 ()	()
()	150,000	支払手形	150,000
前払金	83,900	当座預金	83,900
買掛金(福島商店)	400,000	売掛金(山梨商店)	400,000
支払手形	263,000	当座預金	263,000
当座預金	55,000	売上	55,000
当座預金 ()	()	() ()	()
水道光熱費	42,900	当座預金	42,900
売掛金(千葉商店)	316,100	売上	316,100
()	112,400	当座預金	112,400
仕入 ()	()	売掛金(東京商店) ()	()
当座預金	131,500	売掛金(東京商店)	131,500
前払金	49,700	当座預金	49,700
備品	800,000	未払金	800,000
受取手形 ()	()	売掛金(埼玉商店) ()	()
仕入 ()	()	() ()	()
売上	4,200	売掛金(山梨商店)	4,200
() ()	()	() ()	()

受 取 手 形 記 入 帳

平成 25年	摘 要	金 額	手形 種類	手形 番号	支 払 人	振出人 または 裏書人	振 出 日			満 期 日	支 払 場 所	てん末			
							月	日	年			月	日	摘要	
3	31	売 上	438,000	約手	3	東南商店	東南商店	3	31	5	31	全商銀行本店	5	30	更 改
4	30	売 掛 金	620,000	約手	2	千葉商店	千葉商店	4	30	5	30	全商銀行関東支店	5	30	回 収
5	30	()	510,000	約手	5	埼玉商店	山梨商店	5	30	6	30	全商銀行関東支店			
	"	()	380,000	為手	4	東京商店	埼玉商店	5	30	7	30	全商銀行関東支店			
	"	受取手形	438,000	約手	6	東南商店	東南商店	5	30	8	30	全商銀行本店			

支 払 手 形 記 入 帳

平成 25年	摘 要	金 額	手形 種類	手形 番号	受 取 人	振 出 人	振 出 日			満 期 日	支 払 場 所	てん末			
							月	日	年			月	日	摘要	
4	30	仕 入	263,000	約手	2	群馬商店	当 店	4	30	5	30	全商銀行関東支店	5	30	支 払 い
5	30	買 掛 金	150,000	約手	3	福島商店	当 店	5	30	7	29	全商銀行関東支店			
	"	仕 入	207,000	為手	4	山形商店	茨城商店	5	30	8	30	全商銀行関東支店			

売掛金明細表

	5月29日	5月30日
千葉商店	¥()	¥ 825,800
埼玉商店	668,900	198,100
東京商店	()	()
山梨商店	()	()
	<u>¥ 2,301,000</u>	<u>¥ 1,828,000</u>

買掛金明細表

	5月29日	5月30日
福島商店	¥ 1,035,000	¥ 485,000
茨城商店	712,500	671,300
栃木商店	412,300	237,400
群馬商店	245,200	351,800
	<u>¥ 2,405,000</u>	<u>¥ 1,745,500</u>

3 (42点)

香川商店（個人企業）では、普通仕訳帳のほかに、特殊仕訳帳として当座預金出納帳・仕入帳・売上帳を用いている。よって、次の1月中の取引を仕訳帳に記入し、総勘定元帳および売掛金元帳・買掛金元帳に転記して、残高試算表を作成しなさい。

- ただし、
- i すでに記入してある取引も転記すること。
 - ii 特殊仕訳帳の摘要欄には、転記に必要な商店名のみ記入すればよい。
 - iii 普通仕訳帳の小書きは、売掛金元帳・買掛金元帳に転記する必要があるときに商店名を記入すればよい。
 - iv 総勘定元帳および売掛金元帳・買掛金元帳への転記は、日付と金額を示せばよい。
 - v 特殊仕訳帳は月末に締め切り、合計転記は特殊仕訳帳から直接おこなうこと。

取 引

- 1月 7日 岡山商店から商品¥992,250を仕入れ、代金のうち¥442,250は小切手を振り出して支払い、残額は掛けとした。
- 8日 岡山商店から仕入れた上記商品のうち¥30,450を品違いのため返品した。
- 9日 従業員から預かっていた所得税額¥38,100を小切手を振り出して納付した。
- 10日 広島商店に商品¥551,460を売り渡し、代金はさきに受け取っていた内金¥380,000を差し引き¥51,460については同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れ、残額は掛けとした。なお、当店負担の発送費用¥26,420は小切手を振り出して支払った。
- 11日 広島商店に売り渡した上記商品について¥27,570の値引きを承諾した。
- 15日 島根商店から商品¥306,600を仕入れ、代金のうち¥200,000は広島商店振り出し、当店あての約束手形を裏書譲渡し、残額は掛けとした。なお、引取費¥5,250を現金で支払った。
- 16日 山口商店に商品¥541,800を売り渡し、代金のうち¥340,000については鳥取商店振り出しの約束手形を裏書きのうえ譲り受け、残額は山口商店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。
- 17日 広島商店振り出し、当店あての約束手形¥600,000が期日となり、当座預金口座に振り込まれたとの通知を受けた。
- 18日 岡山商店に対する買掛金¥250,000の支払いのため、得意先山口商店あての為替手形を振り出し、同店の引き受けを得て、岡山商店に渡した。
- 23日 営業用の備品¥500,000を購入し、代金は翌月より毎月末に¥100,000ずつ支払うことにした。
- 24日 山口商店に対する売掛金¥150,000が、当座預金口座に振り込まれたとの通知を受けた。
- 25日 本月分の給料¥410,790から所得税額¥41,080を差し引き、残額は小切手を振り出して支払った。（当座預金出納帳だけで処理する）
- 28日 当月分の電話料金¥8,620とインターネット接続代金¥5,250が、当座預金口座から引き落とされた。
- 29日 山口商店に商品¥434,700を売り渡し、代金は同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。
- 30日 16日に山口商店から受け取った約束手形を取引銀行で割り引き、割引料¥1,020を差し引かれた手取金は当座預金とした。（当座預金出納帳だけで処理する）
- 31日 島根商店に対する買掛金のうち¥351,000を小切手を振り出して支払った。

第29回（平成25年度）第1部〔答案用紙〕

番号		氏名	
----	--	----	--

1	
得点	

2	
得点	

3	
得点	

1部	
総得点	

1 審	
-----	--

2 審	
-----	--

3 審	
-----	--

1

	借 方	貸 方
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		
(6)		
(7)		

	借 方	貸 方
(8)		
(9)		
(10)		
(11)		
(12)		
(13)		
(14)		

番号		氏名	
----	--	----	--

		借 方	貸 方
(15)			
(16)			
(17)			
(18)	①		
	②		
	③		

1	
得点	

2

仕 訳 集 計 表
平成25年5月30日

借	方	元	勘 定 科 目	元	貸	方
			現 金			
			当 座 預 金			
			受 取 手 形			
			売 掛 金			
			前 払 金			
			備 品			
			支 払 手 形			
			買 掛 金			
			未 払 金			
			前 受 金			
			売 上			
			受 取 手 数 料			
			受 取 家 賃			
			受 取 利 息			
			仕 入			
			発 送 費			
			消 耗 品 費			
			水 道 光 熱 費			
			租 税 公 課			

2	
得点	

当座預金出納帳

平成 25年	勘定科目	摘要	円	売掛金	諸口	平成 25年	勘定科目	摘要	円	買掛金	諸口
						1 4	支払手形				65,000

仕入帳 1

平成 25年	勘定科目	摘要	円	買掛金	諸口

売上帳 1

平成 25年	勘定科目	摘要	円	売掛金	諸口

普通仕訳帳 1

平成 25年	摘要	円	借方	貸方
1 1	前期繰越高	✓	4,986,600	4,986,600

総勘定元帳

現金 1 1/1 前期繰越 76,390	当座預金 2 1/1 前期繰越 1,168,210	受取手形 3 1/1 前期繰越 890,000
売掛金 4 1/1 前期繰越 710,000	繰越商品 5 1/1 前期繰越 1,192,000	備品 6 1/1 前期繰越 950,000
支払手形 7 1/1 前期繰越 350,000	買掛金 8 1/1 前期繰越 771,000	未払金 9 1/1 前期繰越 130,000
前受金 10 1/1 前期繰越 380,000	所得税預り金 11 1/1 前期繰越 38,100	資本金 12 1/1 前期繰越 3,317,500
売上 13	仕入 14	給料 15
発送費 16	通信費 17	手形売却損 18

売掛金元帳

山口商店 1 1/1 前月繰越 540,000
広島商店 2 1/1 前月繰越 170,000

買掛金元帳

岡山商店 1 1/1 前月繰越 420,000
島根商店 2 1/1 前月繰越 351,000

残高試算表

平成25年1月31日

借方	元	勘定科目	貸方
	1	現金	
	2	当座預金	
	3	受取手形	
	4	売掛金	
	5	繰越商品	
	6	備品	
	7	支払手形	
	8	買掛金	
	9	未払金	
	10	前受金	
	11	所得税預り金	
	12	資本金	
	13	売上	
	14	仕入	
	15	給料	
	16	発送費	
	17	通信費	
	18	手形売却損	

3

得点

第29回（平成25年度）第1部〔審査基準〕

1	2点×20=40点
得点	

2	2点×9=18点
得点	

3	3点×14=42点
得点	

1部	100点
総得点	

	借 方	貸 方
(1)	未収有価証券利息 4,050	有価証券利息 4,050
(2)	仮払法人税等 600,000	現 金 600,000
(3)	石 川 支 店 750,000	現 金 350,000 備 品 130,000 福 井 支 店 270,000
(4)	支 払 家 賃 30,800 雑 損 700	現金過不足 29,200 受取手数料 2,300
(5)	手形借入金 2,000,000 支払利息 12,000	当座預金 1,000,000 手形借入金 1,012,000
(6)	売 上 2,500	売 掛 金 2,500
(7)	機械装置減価償却累計額 588,000 減 価 償 却 費 173,250 除 却 損 582,750	機 械 装 置 1,344,000

	借 方		貸 方	
(8)	繰越商品	1,140,000	仕入	1,140,000
(9)	当座預金	5,500,000	資本金 資本準備金	4,100,000 1,400,000
(10)	売掛金 仕入	237,500 184,000	売上 未着商品	237,500 184,000
(11)	売掛金 備品の れん	2,100,000 1,060,000 100,000	買掛金 当座預金	1,960,000 1,300,000
(12)	旅費 現受 借金	40,200 2,800 595,000	仮払金 売掛金 貸倒償却	43,000 580,000 15,000
(13)	有価証券	4,000	有価証券売却益	4,000
(14)	子会社株式評価損	18,000,000	子会社株式	18,000,000

		借 方		貸 方	
(15)		その他資本剰余金	4,400,000	未払配当金	5,800,000
		繰越利益剰余金	1,980,000	資本準備金	400,000
				利益準備金	180,000
(16)		現金	1,336,650	売上	1,336,650
		仕入	1,058,300	積送品	1,058,300
(17)		社債	4,507,750	当座預金	4,516,875
		社債償還損	9,125		
(18)	①	静岡商店	500,000	受取手形	300,000
				三重商店	200,000
		保証債務費用	6,000	保証債務	6,000
	②	当座借越	600,000	売上	1,000,000
		当座預金	196,000	現金	16,000
		手形売却損	4,000		
		長野商店	208,000		
		発送費	8,000		
	③	不渡手形	300,800	当座預金	196,000
			当座借越	104,000	
保証債務		6,000	現金	800	
			保証債務取崩益	6,000	

1	2点×20=40点
得点	

2

仕 訳 集 計 表

平成25年5月30日

借 方	平	勘 定 科 目	平	貸 方
513,460		現 金		474,300
1,036,500		当 座 預 金		551,900
1,328,000		受 取 手 形		1,058,000
1,191,100		売 掛 金		1,664,100
195,600		前 払 金		
805,000		備 品		
263,000		支 払 手 形		357,000
859,500		買 掛 金		200,000
		未 払 金		800,000
		前 受 金		54,800
4,200		売 上		1,853,900
		受 取 手 数 料		10,300
		受 取 家 賃		89,000
		受 取 利 息		2,160
783,500		仕 入		
3,900		発 送 費		
2,800		消 耗 品 費		
42,900		水 道 光 熱 費		
86,000		租 税 公 課		
7,115,460				7,115,460

2

得点

2点×9=18点

当座預金出納帳

平 25	成 年	勘定科目	摘 要	平 子	売掛金	諸 口	平 25	成 年	勘定科目	摘 要	平 子	買掛金	諸 口
1	10	売 上		✓		51,460	1	4	支払手形		7		65,000
	16	売 上		✓		201,800		7	仕 入		✓		442,250
	17	受取手形		3		600,000		9	所得税預り金		11		38,100
	24	売掛金	山口商店	売	150,000			10	送 送 費		16		26,420
	25	所得税預り金		11		41,080		25	給 料		15		410,790
	29	売 上		✓		434,700		28	通 信 費		17		13,870
	30	受取手形		3		340,000		30	手形売却損		18		1,020
					150,000	1,669,040		31	買 掛 金	島根商店	買	351,000	
												351,000	997,450
	31			4		150,000		31			8		351,000
	"			2		1,819,040		"			2		1,348,450
		前月繰越	✓			1,168,210			次月繰越	✓			1,638,800
						2,987,250							2,987,250

仕 入 帳 1

平 25	成 年	勘定科目	摘 要	平 子	買掛金	諸 口
1	7	当座預金		✓		442,250
		買掛金	岡山商店	買	550,000	
	8	買掛金	岡山商店	買	30,450	
	15	受取手形		3		200,000
		買掛金	島根商店	買	106,600	
		現 金		1		5,250
					656,600	647,500
	31			8		656,600
	"			14		1,304,100
	"			8/14		30,450
						1,273,650

売 上 帳 1

平 25	成 年	勘定科目	摘 要	平 子	売掛金	諸 口
1	10	前受金		10		380,000
		当座預金		✓		51,460
		売掛金	広島商店	売	120,000	
	11	売掛金	広島商店	売	27,570	
	16	受取手形		3		340,000
		当座預金		✓		201,800
	29	当座預金		✓		434,700
					120,000	1,407,960
	31			4		120,000
	"			13		1,527,960
	"			13/4		27,570
						1,500,390

(注) 純仕入高の¥1,273,650は、上部に単線、下部に複線がなければならない。

普 通 仕 訳 帳 1

平 25	成 年	摘 要	平 子	借 方	貸 方
1	1	前期繰越高	✓	4,986,600	4,986,600
	18	(買掛金)	8/買	250,000	
		(売掛金)	4/売		250,000
		岡山商店			
		山口商店			
	23	(備品)	6	500,000	
		(未払金)	9		500,000

総勘定元帳

現 金 1		当座預金 2		受取手形 3	
1/1 前期繰越	76,390	1/15	5,250	1/1 前期繰越	890,000
				1/15	200,000
				16	340,000
				30	340,000
売掛金 4		繰越商品 5		備 品 6	
1/1 前期繰越	710,000	1/18	250,000	1/1 前期繰越	950,000
31	120,000	31	150,000	23	500,000
		"	27,570		
支払手形 7		買掛金 8		未払金 9	
1/4	65,000	1/1 前期繰越	350,000	1/1 前期繰越	130,000
		1/18	250,000	23	500,000
		31	351,000		
		"	30,450		
前受金 10		所得税預り金 11		資本金 12	
1/10	380,000	1/1 前期繰越	380,000	1/1 前期繰越	3,317,500
		1/9	38,100		
				25	41,080
売 上 13		仕 入 14		給 料 15	
1/31	27,570	1/31	1,304,100	1/31	410,790
		1/31	30,450		
発 送 費 16		通 信 費 17		手形売却損 18	
1/10	26,420	1/28	13,870	1/30	1,020

売掛金元帳

山口商店 1	
1/1 前期繰越	540,000
	1/18 250,000
	24 150,000
広島商店 2	
1/1 前期繰越	170,000
10	120,000
	1/11 27,570

買掛金元帳

岡山商店 1	
1/8	30,450
18	250,000
	1/1 前期繰越 420,000
	7 550,000
島根商店 2	
1/31	351,000
	1/1 前期繰越 351,000
	15 106,600

残高試算表

平成25年1月31日

借 方	元 丁	勘定科目	貸 方
71,140	1	現 金	
1,638,800	2	当座預金	
90,000	3	受取手形	
402,430	4	売掛金	
1,192,000	5	繰越商品	
1,450,000	6	備 品	
	7	支払手形	285,000
	8	買掛金	796,150
	9	未払金	630,000
	10	前受金	
	11	所得税預り金	41,080
	12	資本金	3,317,500
	13	売 上	1,500,390
1,273,650	14	仕 入	
410,790	15	給 料	
26,420	16	発 送 費	
13,870	17	通 信 費	
1,020	18	手形売却損	
6,570,120			6,570,120

3
得点 3点×14=42点